

現代生活における「外食」と「肉食」

第2報

一家計消費の高級化と下級財

福井 広子

大鹿 淳子

Abstract

Change of the consumption per capita of 260 foods due to the change of the income levels is analysed using the data of household consumption by the Government. 23 patterns among 32 possible patterns are really found, and the characters of the foods belonging to the respective patterns are discussed. The level of the Japanese dietary life is found to be definitely raised.

1 はじめに

筆者(1988)はすでに「家計調査年報」1985年版を用いて、わが国家計の食生活について暫定的ではあるが数量的な分析をおこなった。そこでは、過去16年間に家計消費に占める「外食」費の比率が着実に上昇したこと、さらに家庭内での調理を前提とする「肉食」費にたいして「外食」費の比率が倍増してきたことを確認した。しかし、品目別の食品の消費動向、とくに所得階級別の各食品の消費動向については、予備的な調査にとどまっていた。本稿のねらいは、「所得階級別の外食費について検討する」³⁾にとどまらず、食品全体にたいする所得の影響を考察することである。

2 消費の高度化と下級財の定義

高度成長期を中心としたわが国経済の躍進は国際的に注目を浴び、いまや世界第二位のGNPを擁する経済大国となった。近年のわが国経済が4%台の経済成長を続ける中で、物的満足を求める時代から心の満足をも追求する方向へ変化してきた。とくに、消費動向は耐久消費財を中心とする画一的な大衆消費の時代から、消費の高級化、多様化の時代に移行してきたといわれる。¹⁾

こうした高級化のトレンドが外食を含めた食品の分野でも起きているとの指摘は多い。本稿では、家計消費の中の食品に焦点をあてて、経済環境の変化をふまえて、総務庁「家計調査年報1988年版」²⁾により、現代日本の家計消費の動向を数量的に考察する。

家計消費において食品の高級化とは、実質所得の増大にともなってその需要量が絶対的に増加する食品が多数現れることをいう。こうした高級化という事態がおこっているとすれば、このトレンドに乗り切れずに需要量が減退する食品が存在する可能性が強い。実質所得の増大にもかかわらず需要量が減少する財を下級財という。一般には、バターは上級財、マーガリンは下級財とされる。消費者は所得水準が低いときはマーガリンで代替し、所得の増加と共にバターを消費するからである。

ある食品グループを上級財あるいは下級財として特定することは、今後の家計消費の動向を予測する際の大きな判断材料と成るだろう。

3 分析の方法とデータ

データとして、総務庁「家計調査年報1988年版データファイルNo.2」のT16Z-51（第16表）を使用した。表章形式はつぎの表1の通り。

表1 家計調査年報データファイルの表章形式

第16表（全世帯、年間収入五分位階級、金額）

注：項種 1＝金額のみ、2＝金額、数量あり、3＝金額、数量、平均価格あり

			年間収入五分位階級					
	品 目 分 類	項種	平均	I	II	III	IV	V
1	世帯数分布	0	10000	2000	2000	2000	2000	2000
2	集計世帯数	0	7983	1677	1644	1554	1536	1571
3	調整集計世帯	0	99779	19956	19956	19956	19956	19956
4	世帯人員	0	3.63	3.03	3.54	3.79	3.88	3.94
5	有業人員	0	1.61	1.15	1.46	1.64	1.8	2
6	世帯主の年齢	0	48.3	51.5	45.4	45.9	48.1	50.6
1	102-981 消費支出	1	3493468	2181778	2839505	3310863	3933695	5201497
2	102-399.3 食料	1	967003	706969	863883	963066	1064676	1236423
3	102-160 穀類	1	111389	89801	103171	114492	122851	126629
4	102-109 米類	1	64412	54428	58495	65459	70688	72989
5	102 うるち米	3	63169	53220	57439	64346	69299	71542
6	105 もち米	3	1232	1179	1045	1110	1385	1440
7	109 他の米	1	11	29	10	3	4	7
8	120・129 パン	3	24217	17099	22995	25236	27059	28695
260	398 飲酒代	1	18643	10747	14513	15901	20267	31787
261	39X 学校給食	1	15874	9855	15785	21066	18654	14009

このデータは、1988年の7983世帯にたいする家計消費にかんするアンケート調査の結果をまとめたものである。収入の少ない方から1/5ずつの家計を第一分位階級（年間収入351万円以下）、第二分位階級（年間収入351万円～480万円）、第三分位階級（年間収入480万円～613万円）、第四分位階級（年間収入613万円～827万円）、第五分位階級（年間収入827万円以上）として切っている。各階級の平均世帯人員と有業人員は、階級のあがるにつれて増加している。しかし、

世帯主の年齢は第一分位で51.5歳と最高であることが注目される。第2分位は45.9歳であり、以後は第5分位の51.0歳まで徐々に上昇している。

調査品目は大分類、中分類も入れて総計615品目であり、そのうち、260品目が食品関係である。耐久消費財やサービスなどを含む全体の消費支出の動向を考慮したいので、消費支出額を追加した。したがって、分析対象となる品目は261品目である。

以下で分析に使用する記号を説明する。

X_{ij} : 任意の食品 i にかんする第 j 階級世帯の消費額

x_{ij} : X_{ij} にかんする一人当りの消費額

p_j : 第 j 階級世帯の人員

$f_{i(jj')}$: 食品 i にかんする第 j 階級と第 j' 階級との一人当りの消費額比率

f_{i5} : 食品 i にかんする第1階級と第5階級との一人当りの消費額比率（4節以後は簡単化のために添え字を省略して、 f とする）

このとき、明らかに

$$\begin{aligned} x_{ij} &= X_{ij} / p_j \\ f_{i(jj')} &= x_{ij'} / x_{ij} \end{aligned}$$

である。簡便化のために、 $j=1$ で $j'=j+1$ のとき、 $f_{i(jj')}=f_{i1}$ と書く。 $j=2$ 等についても同様とする。したがって、

$$f_{i1} = x_{i2} / x_{i1}, \dots, f_{i4} = x_{i5} / x_{i4} \quad (1)$$

となる。さらに、簡単な計算より

$$f_{i5} = x_{i5} / x_{i1} = f_{i1} f_{i2} f_{i3} f_{i4} \quad (2)$$

である。

本稿での計算は、 f_{i1} 、 f_{i2} 、 f_{i3} 、 f_{i4} および f_{i5} の5種類の消費額比率を計算することである。これらの f の値が1より大きいとき記号 b と書き、1より小さければ記号 a と書く。これらの計算値がすべて1より大きければ、他の諸事情を考慮しなければ、所得の増加とともに増加する上級財であり、すべて1より小さければ、減少する下級財とみなしてよい。

4 分析結果

まず、食品260品目 ($i=1, \dots, 260$) にかんする隣りあう5階級間の比率 f_{ij} ($j=1, \dots, 4$) を記号 a あるいは b で示す。第1階級と第5階級の比率 f_{i5} (以後、 f と略する) については計算値自体を示す。たとえば、牛肉を例に説明する。 $f_{i1}=1.149, f_{i2}=1.130, f_{i3}=1.128, f_{i4}=1.302, f(=f_{i5})=1.908$ である。したがって、比率の記号は $bbbb$ である (最後の f は書かない。この事情は後で

説明する)。牛肉は今後消費の増加が見込まれる上級財である。

つぎに、食塩を考える。 $f_{11}=0.802, f_{12}=1.017, f_{13}=1.038, f_{14}=1.038, f=0.879$ である。したがって、比率の記号は abbb である。 $f < 1$ である。第1階級から第2階級への移行するにともない、食塩の消費量は急激に落込み(a)、その後第3階級から第5階級に移行するにつれて徐々に回復している(bbb)。しかし、第1階級の消費額には到達していない。

以上の予備的考察をふまえて、本分析では、所得階級間の各食品の消費額比率をいくつかのパターンに類別する。まず、 f_{11} 、 f_{12} 、 f_{13} 、 f_{14} はいずれも a か b かをとり、 f は 1 より大きい か 小さいかであるから、 $2^5=32$ となる。aaaa で $f > 1$ のパターンと bbbb で $f < 1$ のパターンはいずれもありえないから、組み合わせのうえでは最大30種類のパターンが考えられる。しかし、現実のデータではこの組み合わせのなかの23通りのパターンがあらわれたにとどまった。つぎの表2のような分類表形式にまとめる。

表2 食品の階級間消費比率の比較表 (ひな型) *

パターン	記号	$f < 1$	$f > 1$	総和
[1]	aaaa	(1) 1	×	1
[2]	aaab	×	(2) 1	1
[3]	aaba	(3) 3	×	3
[4]	aabb	(4) 5	(5) 14	19
[5]	abaa	(6) 2	×	2
[6]	abab	(7) 3	(8) 5	8
[7]	abba	(9) 1	(10) 4	5
[8]	abbb	(11) 4	(12) 93	97
[9]	baaa	(13) 4	(14) 2	6
[10]	baab	×	(15) 3	3
[11]	baba	(16) 1	×	1
[12]	babb	×	(17) 18	18
[13]	bbaa	(18) 2	(19) 6	8
[14]	bbab	×	(20) 3	3
[15]	bbba	(21) 1	(22) 7	8
[16]	bbbb	×	(23) 78	78
列和		27	234	261

* カッコ内の数字は、パターンの番号であり、カッコの後の数字は、該当する品目数を示す。

×印はこのパターンがデータにはなかったことを意味する。

ここで、例えば牛肉はパターン(21)で、食塩は(9)にある。

表3は、表2の形式にしたがって整理した23のパターンを網羅的に示したものである。なお、番号は1から261まであり、連番からfまでをソート範囲として分析した。

f < 1の品目が27種類、f > 1の品目が234種類であり、下級財である可能性のある品目はこの段階では予想以上にあるとみてよい。さらに、特徴的な点は、f > 1で最後の2つの記号がbbの品目が、非常に多いことである。表2のパターン[16]のbbbbの78個、[8]のabbbの93個、[12]のbabbの18個、[4]のaabbの14個の計203個を数える。とくに、第1階級の動きを無視すると、計171個がabbbとなって所得の増加につれて消費の増大する品目となる。

これらのパターンについての個別的な考察を以下で行う。

表3 食品260品目の分類

(1) aaaa, f<1……1品目

番号	連番	食品番号	品目名	記号	f ₁₁	f ₁₂	f ₁₃	f ₁₄	f
1	78	224	他の生鮮肉	aaaa	0.927	0.997	0.978	0.929	0.839

羊肉、馬肉であり、下級財とみてよい。以下、同様の分類形式に従っている。

(2) aaab, f>1……1品目

2	214	365	サラダ	aaab	0.922	0.950	0.961	1.257	1.058
---	-----	-----	-----	------	-------	-------	-------	-------	-------

(3) aaba, f<1……3品目

3	226	37X	加工賃	aaba	0.511	0.907	1.484	0.991	0.682
4	240	3X2	2級清酒	aaba	0.817	0.917	1.087	0.841	0.684
5	33	179	たら	aaba	0.868	0.860	1.227	0.981	0.899

加工賃の内容については判然としないが、二級清酒、たらともに下級財である。

(4) aabb, f<1……5品目

6	7	109	他の米	aabb	0.295	0.280	1.302	1.723	0.186
7	127	271	あずき	aabb	0.730	5.988	1.120	1.072	0.866
8	55	200	煮干し	aabb	0.744	0.936	1.127	1.121	0.879
9	6	105	もち米	aabb	0.759	0.992	1.219	1.024	0.939
10	164	321	バナナ	aabb	0.892	0.988	1.026	1.052	0.952

他の米については、一層の考慮を要す。あずき、煮干、もち米、バナナの4品目の消費はU字型をしている。所得の低い階級と高い階級で一人当りの消費が大きい。

(5) aabb, f<1……14品目

11	239	3X1	1級清酒	aabb	0.933	0.946	1.128	1.010	1.005
12	19	150	もち	aabb	0.861	0.975	1.222	1.038	1.065
13	31	178	さんま	aabb	0.982	0.981	1.082	1.029	1.072
14	137	282	納豆	aabb	0.974	0.963	1.020	1.134	1.085
15	17	140-160	他の穀類	aabb	0.917	0.999	1.150	1.033	1.087
16	152	302	なつみかん	aabb	0.755	0.966	1.124	1.371	1.125
17	54	199	干しいわし	aabb	0.906	0.954	1.151	1.183	1.177
18	159	307	かき	aabb	0.933	0.974	1.131	1.152	1.185
19	179	327	酢	aabb	0.934	0.959	1.194	1.113	1.191
20	132	278	こんぶ	aabb	0.880	0.995	1.149	1.217	1.224
21	222	36X	調理食品の缶詰	aabb	0.992	0.989	1.013	1.319	1.312
22	97	241	ほうれんそう	aabb	0.988	0.999	1.133	1.180	1.318
23	65	210	かつお節・削り節	aabb	0.975	0.977	1.165	1.198	1.330
24	160	308	もも	aabb	1.000	0.910	1.218	1.317	1.459

パターン(4)と同じであるが、fが1より大きい。第5階級の消費額がもっとも大きい。

(6) abaa, f<1……2品目

25	241	3X3	焼ちゅう	abaa	0.757	1.046	0.780	0.898	0.555
26	30	177	さば	abaa	0.850	1.006	0.968	0.917	0.759

焼酎、さば共に下級財である。

(7) abab, f<1……3品目

27	235	388	乳酸飲料	abab	0.912	1.058	0.852	1.028	0.846
28	176	323	しょう油	abab	0.853	1.050	0.926	1.073	0.890
29	201	349	あめ	abab	0.911	1.059	0.909	1.045	1.917

乳酸飲料は幼児のいる家庭で、あめは幼児のいる家庭や老人の家庭で食べられていると思われる。しょう油がこのパターンに入るのは、所得の高い家計程、健康に留意しているためとも考えられる。

(8) abab, f<1……5品目

30	184	332	化学調味料	abab	0.837	1.056	0.858	1.341	1.017
31	145	295	こんぶつくだ煮	abab	0.890	1.059	0.904	1.289	1.098
32	13	131	干しうどん・そば	abab	0.974	1.078	0.998	1.062	1.114
33	56	201	するめ	abab	0.980	1.224	0.877	1.067	1.122
34	52	197	しらす干し	abab	0.961	1.182	0.981	1.233	1.373

いずれの食品も多少のでこぼこはあるものの全体として増加している。

(9) abba, f<1……1品目

35	129	274	干しいたけ	abba	0.715	1.238	1.128	0.983	0.981
----	-----	-----	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

日本の伝統的な食材ではあるが、単価が高く、幼児のいる家庭では消費されていない。

福井・大鹿：現代生活における「外食」と「内食」

(10) abbb, f<1……4 品目

36	231	382	コーヒー・ココア	abba	0.984	1.000	1.054	0.985	1.022
37	172	320	食用油	abba	0.944	1.061	1.084	0.945	1.026
38	102	245	もやし	abba	0.995	1.021	1.056	0.992	1.064
39	168	317	果物の缶詰	abba	0.972	1.193	1.037	0.917	1.102

f の計算値は 1 をわずかに上回る程度であり、多少の波動はあるものの所得に関係なく消費される食品である。

(11) abbb, f>1……4 品目

40	178	325	砂糖	abbb	0.802	1.017	1.038	1.038	0.879
41	175	322	食塩	abbb	0.784	1.000	1.157	1.023	0.928
42	128	273	他のまめ	abbb	0.683	1.012	1.190	1.189	0.978
43	187	335	風味調味料	abbb	0.885	1.026	1.058	1.031	0.991

すべて第 1 階級の消費額が最高である。第 2 階級以後で若干盛り返しているものの第 1 階級のレベルに達していない。

(12) abbb, f>1……93品目

44	177	324	みそ	abbb	0.859	1.003	1.072	1.082	1.000
45	26	173	いわし	abbb	0.769	1.099	1.098	1.079	1.001
46	105	250	かんしょ	abbb	0.835	1.022	1.107	1.084	1.024
47	4	102-109	米類	abbb	0.920	1.045	1.055	1.017	1.031
48	27	174	かつお	abbb	0.868	1.027	1.074	1.077	1.031
49	5	102	うるち米	abbb	0.924	1.046	1.052	1.017	1.034
50	135	280	豆腐	abbb	0.910	1.048	1.022	1.083	1.056
51	195	343	カステラ	abbb	0.879	1.032	1.071	1.100	1.069
52	18	140	小麦粉	abbb	0.955	1.063	1.039	1.018	1.073
53	216	367	カツレツ	abbb	0.957	1.085	1.029	1.006	1.075
54	131	277	わかめ	abbb	0.870	1.031	1.114	1.077	1.076
55	209	360	弁当類	abbb	0.924	1.009	1.008	1.150	1.080
56	3	102-160	穀類	abbb	0.983	1.037	1.048	1.015	1.084
57	58	203-209	魚肉練製品	abbb	0.999	1.032	1.046	1.005	1.085
58	134	280-289	大豆加工品	abbb	0.932	1.025	1.043	1.090	1.086
59	59	203	さつま揚げ	abbb	0.976	1.037	1.008	1.066	1.087
60	170	320-339	油脂・調味料	abbb	0.987	1.031	1.037	1.042	1.100
61	174	322-339.3	調味料	abbb	0.985	1.029	1.034	1.055	1.105
62	140	290	こんにゃく	abbb	0.949	1.015	1.083	1.029	1.110
63	142	292	たくあん漬	abbb	0.981	1.099	1.017	1.024	1.122
64	109	254	にんじん	abbb	0.980	1.009	1.057	1.076	1.125
65	138	289	他の大豆製品	abbb	0.819	1.052	1.099	1.188	1.126
66	98	242	はくさい	abbb	0.960	1.007	1.092	1.070	1.129
67	136	281	油揚げ・がんもどき	abbb	0.964	1.020	1.088	1.067	1.141
68	36	182	いか	abbb	0.991	1.065	1.084	1.002	1.148
69	161	309	すいか	abbb	0.906	1.079	1.130	1.040	1.149
70	108	253	だいこん	abbb	0.916	1.010	1.096	1.133	1.150
71	115	259	他の根菜	abbb	0.914	1.059	1.101	1.081	1.152

72	25	172	あじ	abbb	0.901	1.013	1.117	1.134	1.157
73	106	251	ばれいしょ	abbb	0.973	1.077	1.067	1.034	1.157
74	61	205	かまぼこ	abbb	0.977	1.051	1.081	1.044	1.159
75	118	261	かぼちゃ	abbb	0.909	1.046	1.051	1.178	1.177
76	104	250-259.2	根菜	abbb	0.946	1.044	1.087	1.096	1.178
77	133	279	他の乾物・海草	abbb	0.898	1.097	1.080	1.111	1.182
78	37	183	たこ	abbb	0.919	1.130	1.079	1.068	1.196
79	119	262	きゅうり	abbb	0.983	1.033	1.087	1.084	1.197
80	107	252	さといも	abbb	0.852	1.094	1.048	1.227	1.199
81	120	263	なす	abbb	0.924	1.012	1.067	1.202	1.200
82	126	271-279	乾物・海草	abbb	0.879	1.112	1.079	1.138	1.201
83	50	195	塩さけ	abbb	0.963	1.074	1.064	1.098	1.208
84	110	255	ごぼう	abbb	0.931	1.062	1.117	1.096	1.210
85	206	35X	分類不能の菓子	abbb	0.989	1.046	1.074	1.092	1.212
86	40	189	他の鮮魚	abbb	0.859	1.082	1.063	1.228	1.212
87	45	192	しじみ	abbb	0.899	1.053	1.138	1.125	1.213
88	151	301	みかん	abbb	0.885	1.031	1.125	1.183	1.215
89	146	296	他の野菜・海草のつくだ煮	abbb	0.974	1.034	1.121	1.082	1.221
90	42	18X	分類不能の鮮魚	abbb	0.926	1.143	1.040	1.117	1.230
91	57	202	他の塩干魚介	abbb	0.932	1.067	1.074	1.158	1.237
92	139	290-299	他の野菜・海草加工品	abbb	0.994	1.052	1.051	1.126	1.237
93	49	195-202	塩干魚介	abbb	0.937	1.078	1.070	1.150	1.243
94	67	213	魚介の漬物	abbb	0.971	1.121	1.030	1.109	1.244
95	93	240-299	野菜・海草	abbb	0.964	1.046	1.088	1.140	1.251
96	32	180	たい	abbb	0.925	1.013	1.078	1.242	1.255
97	51	196	たらこ	abbb	0.914	1.125	1.093	1.119	1.257
98	150	300	りんご	abbb	0.889	1.044	1.282	1.070	1.273
99	21	170-217	魚介類	abbb	0.970	1.058	1.093	1.143	1.282
100	71	217	他の魚介加工品のその他	abbb	0.965	1.038	1.133	1.130	1.283
101	158	306	ぶどう	abbb	0.961	1.025	1.056	1.234	1.283
102	28	175	かれい	abbb	0.994	1.000	1.081	1.202	1.290
103	101	246	カリフラワー	abbb	0.905	1.136	1.015	1.238	1.291
104	94	240-269	生鮮野菜	abbb	0.978	1.038	1.106	1.153	1.295
105	23	170-189.1	鮮魚	abbb	0.962	1.057	1.103	1.157	1.298
106	198	350	せんべい	abbb	0.945	1.136	1.078	1.133	1.311
107	22	170-194	生鮮魚介	abbb	0.969	1.055	1.106	1.162	1.313
108	35	181	ぶり	abbb	0.968	1.033	1.143	1.157	1.322
109	166	31X	分類不能の果物	abbb	0.816	1.050	1.213	1.291	1.343
110	148	300-318	果物	abbb	0.919	1.051	1.168	1.192	1.345
111	149	300-315.3	生鮮果物	abbb	0.914	1.049	1.173	1.198	1.348
112	116	260-269	他の野菜	abbb	0.978	1.042	1.113	1.191	1.349
113	156	304	他の柑きつ類	abbb	0.887	1.096	1.160	1.201	1.354
114	41	187	さしみ盛合わせ	abbb	0.953	1.090	1.136	1.150	1.357
115	29	176	さけ	abbb	0.987	1.063	1.055	1.234	1.366
116	125	269	他の野菜のその他	abbb	0.922	1.058	1.211	1.166	1.378
117	194	342	他の和生菓子	abbb	0.900	1.097	1.123	1.243	1.378
118	203	354	落花生	abbb	0.990	1.109	1.154	1.094	1.385
119	121	264	トマト	abbb	0.946	1.051	1.151	1.215	1.390
120	193	341	まんじゅう	abbb	0.996	1.083	1.090	1.190	1.399
121	229	380	緑茶	abbb	0.888	1.073	1.120	1.323	1.412

福井・大鹿：現代生活における「外食」と「内食」

122	157	305	なし	abbb	0.898	1.039	1.221	1.244	1.417
123	114	25X	たけのこ	abbb	0.949	1.110	1.148	1.177	1.424
124	130	276	干しのり	abbb	0.991	1.178	1.019	1.198	1.425
125	112	257	かぶ	abbb	0.928	1.057	1.112	1.313	1.433
126	83	229	他の加工肉	abbb	0.945	1.081	1.056	1.391	1.501
127	163	311	いちご	abbb	0.991	1.093	1.128	1.229	1.502
128	117	260	さやまめ	abbb	0.972	1.004	1.168	1.323	1.509
129	24	170	まぐろ	abbb	0.978	1.101	1.153	1.217	1.510
130	228	380・381	茶類	abbb	0.958	1.040	1.130	1.342	1.511
131	155	315	オレンジ	abbb	0.933	1.136	1.316	1.160	1.617
132	165	313	他の果物	abbb	0.925	1.191	1.151	1.346	1.707
133	162	310	メロン	abbb	0.976	1.007	1.317	1.319	1.707
134	248	3XX	他の酒	abbb	0.938	1.024	1.318	1.361	1.723
135	48	193	他の貝	abbb	0.943	1.094	1.222	1.378	1.738
136	154	314	グレープフルーツ	abbb	0.923	1.185	1.362	1.325	1.973

もっとも該当品目数の多いパターンである。f が1.5以上の品目は、11品目ある。他の加工肉（ミートローフ、コンビーフ、コールドビーフ）、いちご、さや豆、まぐろ、茶類、オレンジ、他の果物、メロン、他の酒（ブランデー・ウォッカ・果実酒・カクテル・中国酒）、他の貝（あわび・生うに）、グレープフルーツである。上級財とみなしてよい。

(13) baaa, $f < 1$ ……4 品目

137	87	231	粉ミルク	baaa	1.048	0.587	0.957	0.540	0.318
138	62	206	魚肉ソーセージ	baaa	1.055	0.890	0.817	0.740	0.568
139	234	387	炭酸飲料	baaa	1.046	0.936	0.977	0.891	0.853
140	246	3X8	2 級ウイスキー	baaa	1.590	0.685	0.939	0.941	0.962

粉ミルクおよび炭酸飲料がきているのは、これらを消費するのが主として子供のある若い家庭が第2階級に存在するからと思われる。魚肉ソーセージと2級ウイスキーは下級財とみてよい。とくに前者の f が0.568であることはこのことを強く示唆している。

(14) baaa, $f > 1$ ……2 品目

141	232	385-389	他の飲料	baaa	1.076	0.989	0.963	0.982	1.006
142	233	385	ジュース	baaa	1.133	0.972	0.997	0.950	1.043

子供のある家庭を中心に消費されるからであろう。

(15) baab, $f > 1$ ……3 品目

143	217	368	天ぷら・フライ	baab	1.074	0.980	0.982	1.039	1.074
144	215	366	コロッケ	baab	1.041	0.976	0.959	1.112	1.084
145	236	389	他の飲料のその他	baab	1.146	0.999	0.983	1.061	1.195

若干の上がり下がりはあるもののほぼ安定的に消費されている。

(16) baba, $f < 1$ ……1品目

146	221	373	ハンバーグ	baba	1.014	0.977	1.050	0.947	0.985
-----	-----	-----	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------

所得に関係なく安定的に消費されている。

(17) babb, $f > 1$ ……18品目

147	252	391	中華そば	babb	1.100	0.873	1.077	1.010	1.045
148	84	230-238	乳卵類	babb	1.082	0.999	1.024	1.056	1.167
149	68	214	魚介の塩辛	babb	1.110	0.915	1.067	1.103	1.196
150	237	3X0-3X9.3	酒類	babb	1.087	0.953	1.068	1.087	1.202
151	190	339	他の調味料	babb	1.095	0.999	1.088	1.070	1.274
152	86	231-235	乳製品	babb	1.207	0.934	1.056	1.082	1.289
153	99	243	ねぎ	babb	1.043	0.981	1.110	1.142	1.296
154	242	3X4	ビール	babb	1.247	0.932	1.052	1.088	1.331
155	251	390	日本そば	babb	1.096	0.926	1.123	1.321	1.506
156	169	318	他の果物加工品	babb	1.075	0.995	1.101	1.290	1.520
157	46	191	かき	babb	1.256	0.889	1.120	1.259	1.574
158	238	3X0	特級清酒	babb	1.006	0.934	1.466	1.185	1.632
159	89	233	バター	babb	1.247	0.971	1.130	1.287	1.762
160	218	369	しゅうまい	babb	1.250	0.998	1.167	1.322	1.925
161	210	361	調理パン	babb	1.400	0.965	1.149	1.249	1.938
162	34	184	ひらめ	babb	1.184	0.952	1.252	1.475	2.080
163	255	394	中華食・他の和食	babb	1.106	0.986	1.281	1.497	2.092
164	230	381	紅茶	babb	1.537	0.884	1.187	1.444	2.330

ビールはかつて高級品であった。現在では第1階級を除いて安定的に消費されている。 f が1.5を超える食品は、日本そば、他の果物加工品（干し柿・干しぶどう・カシュナッツ）、かき、特級清酒、バター、しゅうまい、調理パン、ひらめ、中華食・他の和食、紅茶であり、最後の3品目の f は、2を超える。したがって、ひらめ、中華食・他の和食（外食）、紅茶は最も代表的な上級財に入るだろう。

(18) bbba, $f < 1$ ……2品目

165	224	375	そうざい材料セット	bbba	1.326	1.050	0.728	0.902	0.915
166	14	132	即席めん	bbba	1.037	1.019	0.976	0.899	0.927

そうざい材料と即席めんは共に第3階級で消費額が最高になっている。

(19) bbba, $f > 1$ ……6品目

167	9	120	食パン	bbba	1.057	1.022	0.990	0.942	1.007
168	200	357	スナック菓子	bbba	1.172	1.080	0.925	0.898	1.052
169	188	336	ふりかけ	bbba	1.100	1.034	0.971	0.956	1.056
170	261	39X	学校給食	bbba	1.371	1.247	0.865	0.740	1.093
171	185	333	カレーの素	bbba	1.130	1.030	0.991	0.949	1.094
172	180	328	ソース	bbba	1.130	1.054	0.999	0.986	1.174

これら5品目も(18)と同じく第3階級で消費が最高となっている。このなかで学校給食費に注目すると、第3階級の世帯はもっとも小中学生が多いことを示唆している。実際、全国小学校の児童の約98%、中学校の生徒の約66%が学校給食を受けている。つまり、(18)と(19)の2つの第

福井・大鹿：現代生活における「外食」と「内食」

3階級のグループは、共に育ちざかりの子供をもつ家庭を営んでいる。この階級の世帯人員は3.79人であり、第4階級の3.88人、第5階級の3.94人には及ばないものの全国平均を上回る人員を抱えている。第3階級の世帯主の年齢(45.4歳)が第4階級より約2.2歳若く、第5階級よりも4.7歳若いことも考えると、第4階級と第5階級の子弟は小中学校ではなく高校生や大学生をもつ家計である可能性が強い。「家計調査年報」では各階級の平均世帯の家族構成は明らかにされていないため、こうした推測をせざるをえない。

したがって、第3階級では子供の好きな即席めん、食パン、スナック菓子、カレーの素、ソースがもっとも消費されている。

(20) bbab, f>1…… 3品目

173	219	371	ぎょうざ	bbab	1.051	1.033	0.995	1.040	1.123
174	85	230	牛乳	bbab	1.052	1.015	0.999	1.061	1.132
175	202	352	チョコレート	bbab	1.120	1.054	0.958	1.190	1.347

持ち帰りぎょうざと牛乳は共に飽和状態に近く、所得の増加程、消費は増加していない。チョコレートは年間で2月(14日のバレンタインデー)の消費支出増加が著しい季節商品であり、1989年には年間消費支出の約25%を占めている。⁴⁾

(21) bbba, f<1…… 1品目

176	12	130	ゆでうどん・そば	bbba	1.006	1.009	1.005	0.907	0.925
-----	----	-----	----------	------	-------	-------	-------	-------	-------

ゆでうどんが第5階級でのみ減少しているのは、興味深い。外食の日本そば(うどんを含む)はこの階級で最高になっているから、外食レジャーが進むなか、付加価値の高い外食のみならず、たんに簡便な外食も第5階級が消費をリードしていることがわかる。

(22) bbba, f>1…… 7品目

177	11	130-139	めん類	bbba	1.044	1.032	1.001	0.963	1.039
178	60	204	ちくわ	bbba	1.012	1.016	1.093	0.936	1.052
179	171	320・321	油脂	bbba	1.005	1.046	1.058	0.959	1.067
180	15	133	中華めん	bbba	1.129	1.029	1.000	0.964	1.120
181	173	321	マーガリン	bbba	1.164	1.013	1.001	0.991	1.171
182	223	370	冷凍調理食品	bbba	1.411	1.081	1.052	0.946	1.519
183	77	22X	合いびき肉	bbba	1.396	1.098	1.109	0.990	1.682

これら7品目は第1階級から第4階級まで順調に消費がのびてきたにもかかわらず、第5階級でのみ消費が落ち込んでいる。これらの食品は相対的に嫌われている。

(23) bbbb, f>1……78品目

184	227	380-389	飲料	bbbb	1.034	1.001	1.013	1.060	1.111
185	96	240	キャベツ	bbbb	1.019	1.021	1.041	1.045	1.132
186	111	256	たまねぎ	bbbb	1.052	1.017	1.040	1.017	1.132
187	189	33X	他の液体調味料	bbbb	1.002	1.060	1.021	1.048	1.137
188	92	238	卵	bbbb	1.038	1.029	1.052	1.016	1.142
189	20	160	その他	bbbb	1.031	1.010	1.074	1.030	1.152
190	212	364-376.3	他の調理食品	bbbb	1.067	1.024	1.008	1.089	1.199
191	44	190	あさり	bbbb	1.021	1.018	1.089	1.062	1.203
192	205	359	他の菓子	bbbb	1.019	1.034	1.054	1.085	1.205
193	182	330	マヨネーズ・ドレッシング	bbbb	1.055	1.077	1.009	1.055	1.211
194	207	360-376.3	調理食品	bbbb	1.054	1.019	1.016	1.113	1.215
195	76	222	鶏肉	bbbb	1.027	1.085	1.072	1.019	1.217
196	122	265	ピーマン	bbbb	1.051	1.034	1.038	1.085	1.223
197	225	376	他の調理食品のその他	bbbb	1.008	1.029	1.052	1.127	1.230
198	143	293	はくさい漬	bbbb	1.067	1.004	1.090	1.058	1.236
199	181	329	ケチャップ	bbbb	1.163	1.046	1.000	1.025	1.248
200	208	360-363	主食的調理食品	bbbb	1.019	1.007	1.039	1.179	1.257
201	183	331	ジャム	bbbb	1.098	1.094	1.004	1.052	1.268
202	123	266	生しいたけ	bbbb	1.006	1.062	1.075	1.114	1.281
203	167	317・318	果物加工品	bbbb	1.018	1.098	1.065	1.081	1.288
204	8	120・129	パン	bbbb	1.151	1.025	1.047	1.044	1.291
205	144	294	他の野菜の漬物	bbbb	1.015	1.040	1.060	1.154	1.291
206	220	372	やきとり	bbbb	1.054	1.045	1.115	1.069	1.313
207	191	340-359.5	菓子類	bbbb	1.044	1.066	1.064	1.116	1.323
208	75	221	豚肉	bbbb	1.091	1.059	1.086	1.057	1.327
209	81	226	ソーセージ	bbbb	1.228	1.063	1.017	1.000	1.328
210	204	356	アイスクリーム	bbbb	1.198	1.079	1.023	1.004	1.329
211	95	240-249	葉茎菜	bbbb	1.012	1.026	1.117	1.157	1.342
212	63	209	他の魚肉練製品	bbbb	1.050	1.113	1.104	1.042	1.344
213	2	102-399.3	食料	bbbb	1.046	1.041	1.080	1.144	1.345
214	66	212	魚介のくん製	bbbb	1.029	1.132	1.068	1.097	1.365
215	64	210-217	他の魚介加工品	bbbb	1.010	1.060	1.108	1.152	1.366
216	141	291	梅干し	bbbb	1.021	1.076	1.029	1.221	1.379
217	192	340	ようかん	bbbb	1.067	1.024	1.227	1.064	1.427
218	113	258	れんこん	bbbb	1.024	1.026	1.210	1.132	1.438
219	10	129	他のパン	bbbb	1.200	1.026	1.074	1.088	1.439
220	70	216	魚介の缶詰	bbbb	1.075	1.024	1.161	1.138	1.455
221	186	334	スープの素	bbbb	1.176	1.048	1.079	1.095	1.456
222	100	244	レタス	bbbb	1.071	1.087	1.072	1.174	1.466
223	16	139	他のめん類	bbbb	1.234	1.011	1.123	1.047	1.466
224	91	235	他の乳製品	bbbb	1.222	1.014	1.124	1.054	1.468
225	43	190-194	貝類	bbbb	1.042	1.034	1.135	1.210	1.480
226	79	225-229	加工肉	bbbb	1.190	1.078	1.053	1.106	1.494
227	90	234	チーズ	bbbb	1.263	1.012	1.058	1.116	1.510
228	72	220-229	肉類	bbbb	1.118	1.089	1.089	1.145	1.520
229	82	227	ベーコン	bbbb	1.158	1.094	1.085	1.108	1.523
230	73	220-224.2	生鮮肉	bbbb	1.101	1.092	1.098	1.155	1.525
231	147	299	他の野菜・海草加工品のその他	bbbb	1.102	1.074	1.072	1.206	1.530
232	88	232	ヨーグルト	bbbb	1.247	1.010	1.047	1.161	1.532

福井・大鹿：現代生活における「外食」と「内食」

233	213	364	うなぎのかば焼	bbbb	1.018	1.062	1.157	1.224	1.532
234	103	249	他の葉茎菜	bbbb	1.006	1.041	1.187	1.237	1.537
235	38	185	えび	bbbb	1.176	1.025	1.144	1.117	1.541
236	47	194	ほたて貝	bbbb	1.051	1.142	1.113	1.174	1.568
237	153	303	レモン	bbbb	1.050	1.104	1.157	1.180	1.582
238	197	345	他の洋生菓子	bbbb	1.174	1.016	1.126	1.187	1.596
239	80	225	ハム	bbbb	1.213	1.086	1.074	1.145	1.619
240	124	267	他のきのこ	bbbb	1.104	1.073	1.091	1.291	1.668
241	199	346	ビスケット	bbbb	1.185	1.044	1.118	1.207	1.669
242	196	344	ケーキ	bbbb	1.185	1.084	1.109	1.174	1.672
243	53	198	干しあじ	bbbb	1.079	1.097	1.093	1.319	1.706
244	254	393	すし	bbbb	1.017	1.099	1.123	1.418	1.779
245	1	102-981	消費支出	bbbb	1.114	1.089	1.161	1.302	1.833
246	69	215	魚介のつくだ煮	bbbb	1.024	1.085	1.219	1.378	1.864
247	74	228	牛肉	bbbb	1.149	1.130	1.128	1.302	1.908
248	39	186	かに	bbbb	1.247	1.037	1.043	1.446	1.950
249	253	392	他のめん類外食	bbbb	1.312	1.073	1.093	1.272	1.955
250	211	363	他の主食的調理食品	bbbb	1.399	1.044	1.090	1.251	1.991
251	249	390-399.3	外食	bbbb	1.261	1.051	1.138	1.324	1.997
252	259	397	喫茶代	bbbb	1.362	1.052	1.069	1.368	2.096
253	250	390-399	一般外食	bbbb	1.248	1.026	1.181	1.392	2.105
254	245	3X7	1級ウイスキー	bbbb	1.646	1.228	1.072	1.003	2.172
255	260	398	飲酒代	bbbb	1.156	1.023	1.245	1.545	2.275
256	257	396	他の主食的外食	bbbb	1.466	1.032	1.179	1.304	2.328
257	244	3X6	特級ウイスキー(国産)	bbbb	1.185	1.176	1.146	1.548	2.473
258	247	3X9	ぶどう酒	bbbb	1.368	1.142	1.292	1.528	3.084
259	243	3X5	特級ウイスキー(輸入)	bbbb	1.013	1.184	1.389	1.977	3.293
260	256	395	洋食	bbbb	1.423	1.122	1.190	1.793	3.403
261	258	399	分類不能の外食	bbbb	1.157	1.494	1.032	2.519	4.497

まず、食費を含む消費支出がこのグループに入っていることに注意すべきである。 $f = 1.833$ である。第1階級の消費の比率は平均して1.833である。この数値を上回る食品は、わずか16品目である。すでに福井(1988)でみたように、エンゲル係数は傾向的に減少をつづけており、所得の増加ほど食品にたいする支出は増加しない。それにもかかわらず f が大きい食品は、外食関係と一部の高級品にかたよっている。

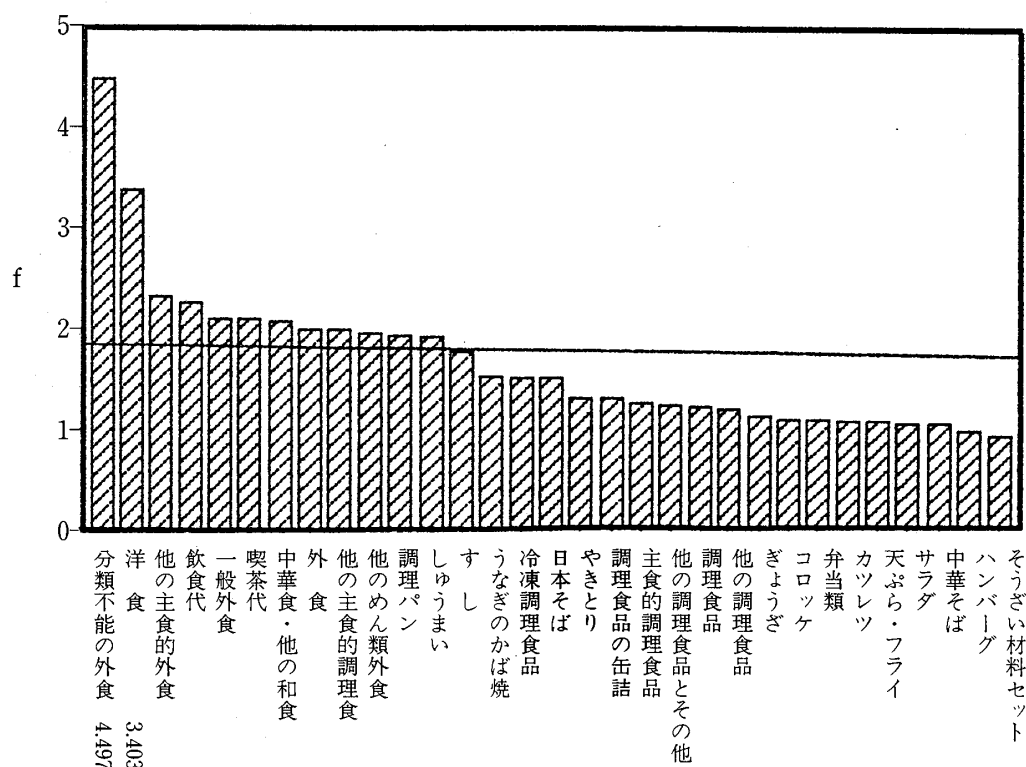
f が3を超える食品は、分類不能の食品と洋食の2つの外食と、輸入特級ウイスキーとぶどう酒の、計4品目である。 f が1.833をこえる他の品目は、魚介の佃煮、牛肉、かに、一級ウイスキー、国産特級ウイスキーの5品目、および他のめん類(スパゲティ・マカロニ・グラタン)、外食、他の主食的調理食品(ピザパイ・レトルト食品)、外食、喫茶代、一般外食、飲酒代、他の主食的外食の計7品目である。

外食関係を別にとすると、輸入ウイスキー、かに、(高級)牛肉、(高級)ぶどう酒などはすべて大量生産がむずかしいものばかりである。ウイスキーにしろ特定のぶどう酒にしろ、いくつかの高級品イメージのある強力なブランドが消費者に浸透していて、商品としての魅力は捨てがたい。かにを食べなくてもタンパク質は摂取できる。しかし、かにはおいしいという嗜

好が強く消費者にあり、これを実現できるのは余裕のある第5階級なのである。

分析の最後に、外食関係31品目をfの大きい順に並べてみる(図1参照)。すでにみたように、第1位の分類不明の外食のfは4.497、2位の洋食の3.403から最下位の31位のそうざい材料セットの0.915まで並んでいる。横線は消費支出のfの1.833の高さを書いている。このレベルを超える外食関係の品目は12種類あり、この内、しゅうまい、調理パンおよび他の主食的調理食品(ピザパイとレトルト食品)の3種類が調理済み食品の持ち帰りであり、残り9品目が純然たる外食である。

図1 外食関係31品目のf



これは、食生活の洋風化が依然として進み、ファーストフードやレストランチェーンの画一的洋風化の時代を通過して、人々はフランス料理に始まり、エスニック料理やクレオール料理などを楽しんだり、各地の味の有名店を探訪するなどの現象のあらわれかもしれない。食生活の面でも、「自由裁量的な支出」がおこなえる余裕が第5階級を中心に出てきたのである。

6 おわりに

以上の分析からつぎの諸点が明かとなった。

福井・大鹿：現代生活における「外食」と「内食」

- 1) かつては高級品のイメージのあったコーヒーが大衆化してきた。しかし、近年上級財として考えられる紅茶が将来は大衆化するであろう。
- 2) 米はその時代時代の食生活を如実に反映している。食の外部化が進むなか、たきたてのご飯を焼き立てのパンと同様に持ち帰り弁当店で買う消費者がめだって増加している。台所から炊飯器がなくなるとの予想もあるなか、米とご飯の消費の動向は将来のわが国の食生活を占う点でのひとつのキー・ポイントである。
- 3) 魚肉ソーセージは典型的な下級財であるが、近年は、飽食の時代を通りすぎ、ヨーグルトの消費急増に示されるヘルシー志向も強めており、魚肉ソーセージのイメージ向上を業界では目論んでいる。従って、将来は下級財としての定義を脱することも十分予想される。
- 4) パータン(5)に含まれる品目のなかには、健康イメージをもった商品が目についた。たとえば、こんぶとかつお節・削り節は日本料理の「だし」の材料として、重要である。子育ての負担のない家庭に消費が多い。反面、「だし」の即席品目である風味調味料は、第1階級での消費額が最高となっている。
- 5) パータン(11)である消費比率 abbb のグループには、前述の風味調味料の他に、食塩と砂糖も含まれることは興味深い。
- 6) 外食関係は典型的な上級財であり、とくに洋風化の動きが第5階級で突出している。

最後に、将来の課題として、「家計調査年報」の第1分位階級の内容に接近したい。現在のところ、この階級はおそらく消費生活パターンの異なる老人夫婦世帯と独身世帯、または幼児をかかえる若年夫婦世帯の合体物と考えられる。こうした複雑な世帯の平均であるためか、今回の研究では f_{11} の動きがやや他の比率とスムーズに連続していなかったように思える。

参考文献

- 1) 経済企画庁『国民生活白書』昭和61年版
- 2) 総務庁『家計調査年報』昭和63年版
- 3) 福井広子「現代生活における「外食」と「内食」―「家計調査年報」による―」研究紀要(夙川学院短期大学) 13号、1988年12月
- 4) 総務庁『家計調査年報』平成元年版